

農業経営から「百姓」を目指して (有限会社せりた)

<法人の概要>

所在地：秋田県大潟村

設 立：平成8年4月24日

資本金：1,000万円 売上高：3,735万円（平成26年）

構成員（議決権）：農業従事者4名（100%）

役 員：4名（うち農作業従事4名）

従業員数：常時雇用者3名（総従事者7名役員含む）、臨時雇用者年間240名位

経営面積：26ha（うち所有14.5ha、借入11.5ha）

基幹農作業受託面積：なし

作付作物：米9.2ha、小麦4.5ha、豆類10.5ha、野菜6.0ha（ハウス1棟）



小麦収穫（銀河のちから・ゆきちから・ハルイブキ）

<営農を開始するまでの状況>

農地については農業委員会に相談し、借地することができた。

地域内では唯一飼料米生産し耕畜連携に取り組むと共に小麦は製粉してパン屋に販売。また、大豆、野菜を複合的にこだわり生産して委託加工で商品化、米と共に産直という経営を展開している。雇用についても地元で対応している。

法人化するに当たり県農業会議のアドバイスを受け、法人化を指向してから3年目で設立した。

＜特徴的な取組＞

米麦大豆の土地利用型が主体で無農薬栽培などこだわりの生産に野菜栽培も複合、更に加工（委託加工、自家加工）して、米は白米、はい芽米、玄米、発芽玄米、ブレンド玄米（玄米と豆類混合）として消費者に直接販売している。

産直は1985年より始め、最初は白米だけでしたが、1993年の大冷害をきっかけに、米だけでなく味噌、醤油、豆腐、納豆を加工する事で付加価値もついて所得向上に繋がればと本格的に委託加工を検討。県内外の専門の加工業者との連携で委託加工でこだわりの商品を米と一緒に産直している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

現状の経営規模を維持しつつ、経営内容の充実を図り、現在、八峰町に借りている畑において安定生産できる体制を整えながら、より先進的な野菜の土耕養液栽培の導入について検討している。家族中心の法人経営から、雇用により従業員も増えてきており、天候に左右されずに冬期間も含めて周年高位安定生産できる技術の習得を目指す。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

社会が大きく発展している時代は終わり、停滞低迷している現状を打開して経営の安定確立を図り継承していくには並大抵の事ではない時代となった。

個人や法人、組織それぞれの経営努力は当然のことであるが、同時に地域も安定繁栄できる事が理想であり、法人組織は特に地域と共にある事が必要と考えている。



加工商品